



アクション = インパクト
ショーケース
2020-2021

目次

4

指導力育成

30

会員増強

56

奉仕

82

新型コロナウイルス感染症



ストーリーと成功

ここでは、2020～21年度にグローバル・アクション・チームに世界中から寄せられた上位100のストーリーをご紹介します。それぞれのストーリーの中でとられた行動は、クラブ、地域社会、そしてライオンズの会員と受益者の生活に永続的なインパクトを生み出しました。

この本で取り上げられた地域はすべて、ストーリーを提出したことに対し、地区GAT補助金プログラムを通じて500ドルを受け取りました。



指導力育成



公認ガイディング・ライオンを頼りにしている9-SE地区

アイオワでは、北米会員増強イニシアチブのプロセスにおいて地区リーダーが新クラブ結成の候補地を特定するにあたり、公認ガイディング・ライオンが支援しました。

ミシガンのリーダーがマンツーマンの支援を提供

11 C1地区のグローバル・アクションチームは、奉仕報告のウェビナーを主催し、苦勞しているクラブを個別にフォローアップしました。 的を絞った取り組みによって、報告率が23%から84%に上昇しました。





13 OH5地区では、クラブが互いに切磋琢磨できる環境を提供

オハイオのリーダーは、奉仕事業や会員勧誘にクラブを巻き込むチャレンジプロジェクトを作り、参加を奨励するための「新会員ワークブック」という資料を作成しました。

その結果、その地域の会員の参加率が上がりました。



24 I地区のライオンズは、オンライン研修「リーダーシップフライデー」で毎週新たなことを学びながらも、楽しみ、親睦の場としての機会ととらえています。指導力育成のページが地区ウェブサイトに加えられ、メンバーは全ての研修行事の録画や資料をダウンロードすることができます。

-24 I地区 キャビネット幹事





マサチューセッツのリーダー は真冬の会議を再考

ライオンズの安全を守るため、33 K地区のリーダーは真冬に実施される典型的な会議をバーチャルの行事として再構築しました。





A 3地区はクラブ幹事を活用し 奉仕報告を拡大

アクション: 地区は、奉仕報告に成功しているカナダのクラブ幹事に、苦勞している他の幹事のための研修を担ってくれるよう依頼。

インパクト: クラブの奉仕報告率が、年間を通して34%から80%に増加。





E-2地区が参加しやすい研修を企画

地区のリーダーシップ研修をもっと参加しやすいものにするために、GLTコーディネーターは研修の設定を再構成しました。



地区は、参加に必要な移動を最小限にするために地域ごとに研修の開催を始め、各年度のプログラムで通常は平均20名のライオンが研修を受けるところ、たった一年で修了者の数は一気に100名を超えました！





ブラジルのライオンズはMyLionについてオンライン で学習

アクション: LA 3地区はオンライン研修を主催し、クラブ幹事がMyLionで奉仕を報告する方法を学べるようにした。

インパクト: 地区内の85%以上のクラブが年度内に奉仕を報告した。



“

LC 1地区では、ライオンズメンバーのためのGLT/GAT関連の18のコースを作り、地域社会に公開しました。そのサイトはすでにブラジル全土からのアクセス数が15万を超えています。

-LC 1地区 GLTコーディネーター

”



ドイツのライオンズがオンラインニュースレターの配信を開始

111BO地区は、地区内の行事、最新情報、成功事例を伝え、クラブ、会員、役員を動機づけるための地域でのニュースレターの配信を開始しました。ニュースレターは、地区全体での奉仕事業への参加を増やす貴重なツールになっています。





114 M地区は地域の若者を表彰

オーストリアのリーダーは、地域社会の若者による奉仕を称え、奨励するための「ライオン・ヤング・アンバサダー・アワード」を創設しました。

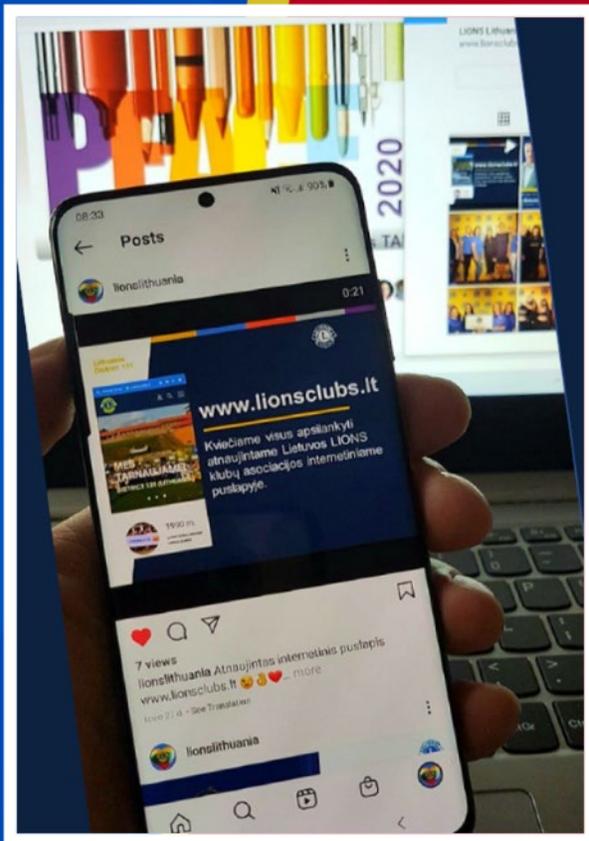
クラブは申請を支援し、アワードの促進活動に参加しました。





118 E地区はライオンズクエストの推進役を育成

ある地域住民がライオンズクエストについて知り、クラブに入会しました。そして彼女はライオンズクエストを地域内の他の学校にも紹介することができました。1,000人を超える教員に対しライオンズクエストに関する様々なワークショップを主催し、彼女は教員たちが最大限のインパクトをもたらせるよう、ライオンズクエスト・スペシャルティクラブのチャーターに着手しました。



リトアニアのリーダーはソーシャルメディアを活用

131地区の役員は、ライオンズと繋がりを持つため、相互交流型のウェブサイトとソーシャルメディアのプラットフォームをいくつか立ち上げました。ライオンズについての特色のあるビデオ、ストーリー、アイデア、ディスカッションやジョーク、クイズ、ゲームも掲載しています。





クラブのための奉仕事業旅行の計画を共同で取り組んだ308 A2地区のリーダー

マレーシアのクラブは遠隔地域に赴き、週末をかけていくつかの奉仕事業を提供しました。旅行することで、会員が安全に滞在し、結束を固め、最も重要なことは今すぐ支援を必要としている地域社会に奉仕を提供することが出来ました。



奉仕報告を重点的に取り組んだ335 A地区

アクション:日本のリーダーは奉仕報告のプロセスと研修についての意見を聞くためアンケート調査を実施し、そしてニーズに応えるための独自の研修や支援を行った。

インパクト:2020-2021年度に地区で100%の報告率を達成し、現在レオクラブも報告できるようにする研修に取り組んでいる。





韓国のライオンズはクラブ会長によるLCIFへの支援を活性化

354 D地区は地区内のクラブ会長との会合を開き、そこでLCIFの目的と必要性を強調し、クラブメンバーとのキャンペーン100推進を奨励しました。





356 D地区は災害救助ボランティア部隊を結成

356 D地区は災害救助が求められたときに対応できるライオンズの特別ボランティアチームを任命しました。





CA1

CA2

CA3

CA4

CA5

CA6

CA7

CA8

←  Lions Clubs International... 🔍 🛡️

 shared a **post**.
Moderator • 15 h • 🌐

GAT SUCCESS STORY 2021.....

" LEADERSHIP IS THE KEY FOR GAT SUCCESS.. "

Excellent team work by GAT (GLT. GMT. GST)

GLT.. Training over 844 Lions in all levels. Highest ever number in MD306... See more

スリランカのリーダーは空席補充で連携

地区内の40%のクラブが少なくとも1つの役員空席となった状態で年度が始まった306 C1地区のリーダーは、空席補充を支援するためにメンバーの研修を開始しました。

ネパールのLCIFとGATコーディネーターは目標達成のために協力

325B1地区の年次大会で開催されたGATとLCIFコーディネーターによる研修によって、キャンペーン100への寄付、新会員、新クラブ結成数の増加に繋がりました。





ライオンズがカルタナカでリーダーシップの機会を創出

317 E地区で新たなスペシャルティクラブを結成した後、クラブのリーダー達は若い会員に役職に就くよう奨励しました。そのクラブは今では地域で最も若く、多様性のあるメンバーで構成されるクラブの一つとなり、新鮮で魅力のある奉仕のアイデアが生み出されています。



324A1地区は新たな役員の研究會に研究会を活用

タミルナードゥのライオンズが主催した4つの異なる地域別研究会で100名以上が参加し、今では「学び、模範となり、行動する」準備が整った地区の役員となっています。





3232B2地区はライオンズ・ビジネスネットワークを構築

グジャラートのライオンズは、ライオンズ・ビジネスネットワークを構築することにより、ライオンズが指導力を発揮する機会を強化しました。ネットワークに参加するライオンズは、地域の企業と提携し、奉仕の機会を拡大しています。また地区内の会員増強にもつながっています。

201C1地区の役員は、ある一人のライオンによる環境保全に効果をもたらす取り組みを承諾

環境問題に熱意を注ぐオーストラリアのあるライオンは、環境保全に沿ったプロジェクトを計画し、関心を集める機会が与えられました。これらのプロジェクトは地元で賞を受賞し、地域から非会員のボランティアを呼び込みました。

地域社会の環境保全を支援する数多くの事業を行ったことにより、彼は201複合地区の環境保全プロジェクトコーディネーターになりました。



“

到達する価値がある目標なら、穏やかな説得と
不屈の忍耐で成し遂げることができます。

-202 K地区GSTコーディネーター-

”





地域の若者の心を動かした ナイジェリアのライオンズ

一連の戦略的な研修により、404A1地区のグローバル・アクション・チームはライオンズクラブの活動に胸を躍らせた地域の若者達を獲得し、その結果新レオクラブを結成することが出来ました。





會員增強



2020年12月、私たちの地区は滞納金による活動停止により5クラブが解散の危機にあり、さらに2クラブが解散のための投票を行っていました。新たな北米会員増強イニシアチブの取り組みの下、これら全てのクラブが無事に継続されました。

-2 X2地区 地区GSTコーディネーター





ペンシルベニアのライオンズはレオを支援

14 D地区のライオンズはレオクラブを支援するためのソフトを開発しました。レオはそのソフトで安全にポータルにログインし、お互いコミュニケーションをとり、行事の計画、お知らせの投稿、奉仕の記録、プロジェクトの参加登録を行うことができます。

地区は、地域内の他のレオクラブでもソフトを使えるように取り組んでいます。

200地区は、自分のクラブを救おうとしている ある会員を支援

モンローライオンズクラブの会員数が1人になった時、その最後の既存会員はあきらめませんでした。ゾーン・チェアパーソンと他の地区役員の支援により、そのライオンは彼の地域全体から新会員を勧誘することが出来ました。

モンローライオンズクラブは現在会員が19名となり、奉仕事業や資金獲得イベントを積極的に行っています。





マサチューセッツのライオンズは新しいタイプのスペシアルティークラブを結成

33 S地区の新しいスペシアルティークラブの会員と相棒の犬達は、病気やけがをした地域住民を癒すことで奉仕を行っています。クラブの犬達は認定を受けたセラピードックで、病院、介護施設、学校を訪問することができます。





新会員を獲得した44 H地区

サドルバック・マウンテン・ライオンズクラブは、ソーシャルメディア広告、個別勧誘活動、地域内の他クラブの支援のおかげで、会員数を倍増することができました。



5 SKS地区はバーチャルクラブを活用して会員を維持

サスカチュワンのライオンズが元会員をバーチャル会員になってもらうよう招いたところ、ある会員が地元でバーチャルのクラブ支部結成を志し、その結果バーチャル会員が30人以上になりました。



“

私たちの地区は過去4年で9クラブを結成しました。4年前の会員数は876人でしたが、現在は1,100人を少し下回るくらいです。私たちはクラブでの会員維持に努めており、「誘ってみよう」プログラムを使っています。

-N 3地区 地区ガバナー-

”





ベネズエラのライオンズは200人近い新会員を 獲得

E-1地区のリーダーは、戦略計画を実施することで、197人の新会員を加え、4つの新クラブを結成することができました。

彼らの計画は奉仕報告の増加とキャンペーン100のための資金獲得にも役立ちました。



E 4地区はスペシャルティクラブをスポンサー

アクション:ベネズエラのライオンズは、ライオンズクラブ入会に関心を示した様々な医療関係者から奉仕事業に参加するボランティアを募った。

インパクト:地区内に医療従事者を中心としたスペシャルティクラブが複数結成された。





ブラジルは奉仕を通じて新会 員を獲得

壊滅的な竜巻が起こった後にすぐ、LD 8地区のライオンズがLCIFの交付金を活用し災害救助活動を行ったところ、地域住民はライオンズに引き付けられました。

彼らの奉仕活動の結果、それ以降地区は3つの新クラブを結成し、71人の新会員を獲得しました。





CA1

CA2

CA3

CA4

CA5

CA6

CA7

CA8



会員が自分のクラブと呼べる クラブ探しを支援した103CW 地区

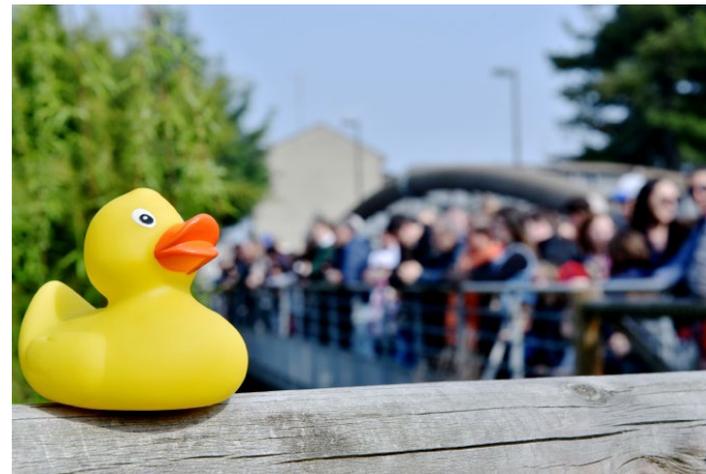
既存クラブの会員が退会しようとしていた時、地区は彼らを会員として維持するため、自分たちのクラブを結成できるよう支援しました。ポンス・オート・サントンジュ・クレスト・ライオンズクラブは22人の会員で結成されました。



イタリアのライオンズはクラブをPRするための地域イベントを主催

108IB1地区は、毎年恒例のアヒルレガッタを主催し、参加者が購入したゴム製のアヒルで川下りレースが行われました。

資金は様々な分野に寄付され、地域社会でのライオンズの認知度が上がっています。





あるクラブを救ったトルコのライオンズ

GATによる支援やソーシャルメディアを活用し、地域の若者を参加させることにより、118 Y地区は会員を活性化させ、解散の危機から再生しました。

コルパルク・ライオンズクラブは今25名の正会員を有し、新たなレオクラブをスポンサーしました。





310 A2地区のレオとライオンズが協力

アクション: タイのライオンズは、ライオンズとレオが協力できるよう、レオクラブと共に地元の学校で食料支援事業を実施した。

インパクト: ライオンズとレオのチームは生徒の昼食の材料となる植物を学校の庭に植え、レオクラブが引き続きその学校で庭の管理を行っている。



作業に地域の住人を巻き込んだ日本のライオンズ

337 E地区が広範囲に発生した洪水に対応した際、非会員も支援に加わりました。学校、地元の自治体、他のボランティアグループから地域住民らが、浸水したものを掘り起こし、清掃を行うライオンズの活動を支援しました。





354 G地区は女性会員を増員

韓国の354地区は、年次女性会員デーの開催に着手しました。女性会員デーでは、式典、研修、奉仕事業を行い、それによって、女性会員が増え、地区全体で会員数の増加につながりました。



“

GSTは様々なクラブの奉仕アクティビティを共有し、GLTはライオンズに友達や家族をライオンズクラブの活動に参加させるよう奨励し、GMTは様々なリジョンでライオンズのチームを巻き込みました。その結果、現在1,244名の新会員が加わりました。

-305 N2地区 地区ガバナー-

”





CA1

CA2

CA3

CA4

CA5

CA6

CA7

CA8



306 A2地区の事業により新クラブ結成

スリランカのライオンズが地域の環境活動家たちに毎年恒例の植樹事業を宣伝したところ、ライオンズへの関心を高め、新クラブ結成に結びつけることができました。



317 C地区は結束に焦点

アクション:地区の「1地区1アクティビティ」の取り組みで、新クラブ結成、レオクラブ結成、女性会員の増員を重点を置いて活動した。

インパクト:カルナカタのライオンズは、9か月間の間に23のライオンズクラブ、24のレオクラブを結成し、女性会員を10%増加させることが出来た。



325B2地区は切磋琢磨を促し、会員を増強

目標を達成もしくは超えた地域は褒賞が与えられるという地区ガバナーの発表に、ネパールの325B2地区のゾーン・チェアパーソンとリジョン・チェアパーソンは、各担当クラブの会員増強に対する意欲をかき立てられました。2020-21年度第1四半期に、彼らは2,000を超える会員純増を成し遂げました！





マハラシュトラのライオンズは奉仕によって新会 員を獲得

3234H1地区は、新型コロナウイルスやその他の奉仕事業における積極的な取り組みが地元メディアで多く報じられ、年度を通して1,200名の新会員を勧誘することができました。

201V6地区は、より柔軟な選択肢を会員に提供するため、サイバークラブを活用

厳格に組み立てられた対面のクラブ例会に満足していないクラブ会員がいる中で、地区はそのような会員が彼らに合う方法で奉仕を続けられるよう、サイバークラブを結成しました。





202-F地区はライオンズについて広く周知

地区内のあるゾーンは、地域全体でライオンズに対する認識と関心を高めてもらうためにライオンズ・エキスポを主催してPRし、数名の新会員獲得に貢献しました。



W E WANT YOU

Winton Lions are looking for members.....



For over 50 years the Winton Lions club has helped serve the local community and is currently on the lookout for new members. Currently the club has 30 dedicated members who help out passionately with community events and projects from right across the Winton region. Recent projects the club has had a hand in include the restoration of the Winton Aztec gates, adding safety barriers and seating areas to the local skate park as assisting in the delivery of firewood to residents to help them stay warm during the winter. Long term member and former president John McHugh said the club was an integral part of the community who was always on the lookout for new members. He said members were welcome of all ages and abilities and could help out from anything ranging from food delivery with meals on wheels, right through to wood chopping and firewood gathering. Life-long friends and connections are made through the club, according to another long-term member Keith Cooper.

Mr Cooper has been the man behind the Winton Lions Club barbecue for the last 40 years, a feat which has been recently celebrated. He said he joined up as a way of putting back into the community and has enjoyed his time with the club ever since. The way the club delivered food from the barbecue had changed quite significantly over the 40 years he has been involved he said, with their current setup of a fully equipped kitchen trailer a far cry from the early days of a few bricks covered in a saw blade for a hot plate and heated by fire. And after 40 years behind the barbecue, Mr Cooper is set to cook his last sausage this year and pass the tongs on to the next generation. Both Mr Cooper and Mr McHugh encouraged people to get involved and contact the club to find out more information on how to join up and help out. The Winton Lions Club meets on the fourth Wednesday of every month at the Central Southland Lodge from 7pm if people wish to also find out more information. "It has great benefits for helping the community," Mr McHugh said.

IMC Investments	\$ 5,000.00 *
Prostate Cancer Foundation	\$ 4,500.00 *
10 x 10 Walk	\$ 200.00
Central Southland College Scholarship	\$ 2,000.00 *
Winton volunteer Fire Brigade/ Sky Tower Challenge	\$ 500.00
Lions Leadership Course/ CSC Student	\$ 975.00
Nelson Fires Donation	\$ 2,000.00
CSC Sponsorship Year 10 - Spirit of Adventure Group	\$ 1,000.00
Winton Southland Kids Zone	\$ 340.00 *
Prognosis Southland	\$ 5,000.00
Emma Brown's towards Bike purchase	\$ 500.00
Bailey Unruh/ towards SR SR purchase	\$ 2,000.00
Total donations by the Lions Club of Winton 2018 - 2019	\$ 23,415.00

*Denote donations made annually to these organisations



Keith Cooper - 40years cooking the BBQ



Firewood sales



Chopping firewood

Interested in joining the Winton Lions Club?

Contact:

Allan Wilson	0211801876
Juan Schoon	0274779920
John McHugh	0274346673



Annual book sale



BBQ items at Winton skate park



インドネシアの地区リーダーは、会員増強を図るため求められた改革を実行

307B2地区のライオンズが新クラブを結成し、会員増強を図るためにはインセンティブが必要であることを伝えたところ、地区は戦略計画と表彰プログラムを開発し、その結果11の新クラブ結成に繋がりました。



「誘ってみよう」で成功を手にした411 B地区

ウガンダのリーダーはクラブに各会員が一人非会員を勧誘するよう奨励し、年間に240名の会員を迎え、4つの新クラブを結成することが出来ました。





奉仕



視力障害者が読める本 4,000冊を救った4 C6地区

点字の本が廃棄されようとしていることを聞いたカリフォルニアのライオンズは、ライオンズのコネクションを使い、本の新たな保管先を探しました。



25 D地区はフードバンクで活発に活動

インディアナのライオンズは、地元のフードバンクから増加する需要に対応するボランティアの協力について連絡を受け、結集しました。現在ライオンズは新たに毎月1回行われる移動フードバンクに参加し、地域住民に食料パックを届けています。





大切な地元のイベントを救い、注目を集めたミズーリのライオンズ

アクション: 毎年恒例の地域のピクニックが中止されてしまう恐れがあったため、26 M3地区のライオンズは伝統が継続されるよう支援に乗り出した。

インパクト: この事業は、最もインパクトのあるファンドレイジングイベント/行事として地元の報道記事で特集された。

Most Impactful Fundraiser/Event

The Rock Bridge Lions Club started in 1982 with a main focus of supporting the needs of Columbia. After news broke that the organizers of the Rock Bridge Picnic had decided to stop having the annual event, the Rock Bridge Lions Club reached out to the organizers and asked for a meeting to learn more about the reasons and concerns regarding the cancellation of the event — it had been part of Columbia's history since 1961. In the following months, the Rock Bridge Lions Club and its members discussed how to overcome the obstacles and make the picnic a great event once again.

After reaching out to Logboat Brewing Co. for help to find the best location for the picnic, the group then met and decided that Welcome Home would be the charity to partner with and raise awareness for. With a great cause of supporting veterans, an amazing venue and beer (courtesy of Logboat), and Cuckoo Stroke and Fire as the delicious food sponsor, the revival of the picnic has been a success. And this year, the Annual Rock Bridge Lions Club Charity Picnic celebrated its third annual event.

President of the Rock Bridge Lions Club Randy McClain says, "It has been a great partnership with Welcome Home, making this fun event one of Columbia's greatest events." Michelle Vogel, Welcome Home's fundraising and events manager, adds, "It continues to amaze me how great our community is and how we all rally around a cause. These folks have partnered with us to make a difference, and they truly have."

Michelle credits the community and the constant support for being able to serve the veterans in the community.

Honorable Mentions

CoMo Famous Ragtag Film Society
In 2019, Ragtag Film Society started CoMo Famous, a new fundraiser to celebrate the entire community. And it was a success. During the CoMo Famous fundraiser, six prominent Columbians selected a favorite film to screen for one night at Ragtag Cinema. These contestants then competed for the largest amount of money raised from ticket sales and donations for their screening. All of the funds raised for CoMo Famous ensured that Ragtag Film Society can continue to screen the best of independent film at Ragtag Cinema every day and help transform Columbia during the four days of the True/False Film Festival. The contestants raised over \$30,000 for the Ragtag Film Society, and it's not stopping there.

Company Feud Job Point
Riffing off Family Feud, Job Point's Company Feud fundraising event pits companies against each other in a competition hosted by radio personality Tom Bradley. The event consists of yelling, food, drinks, and, of course, so much fun that people keep coming back to watch every year. This year, the company is working hard to reschedule Company Feud to a time that will have the same level of engagement to set the same amount of donations as years prior.



州からの支援の要請に応じた34 A地区

車いす用の傾斜路設置の需要に追いつかないアラバマ州のリハビリテーションサービス局は、ライオンズに支援を求めました。州全体のライオンズが、車いすを使っている人々の家に100以上の傾斜路を設置しました。



CA1

CA2

CA3

CA4

CA5

CA6

CA7

CA8



ケンタッキーのライオンズは きれいな水を提供

43 K地区のライオンズは、水のろ過キットを集め、ホンジュラスの村々に提供する活動を行いました。過去3年で、彼らはアクセスがない村々に33,000ガロンのきれいな水を提供するのに十分なキットを寄付してきました。



A 15地区は、増加する食料需要に対応する学校を支援

アクション: カナダのライオンズは地元の栄養学習プログラムと提携し、食料に困っている生徒がいる学校に食料支援を行った。

インパクト: ライオンズは生徒のためにスナック袋3,000個を詰め、支援した学校の教員から、クラスの生徒達の集中力と成績が上がり、以前より幸せそうだと報告があった。





環境保全を最優先事項としたLB 2地区

ブラジルの地区リーダーは、環境保全を彼らの2020-2021年度の最優先事項とすることを決め、植樹やリサイクル収集など、環境保全に関連した地区全体の一連の事業を計画し実行しました。





川の清掃活動を行ったブラジルのライオンズ

LD 5地区のライオンズは、地域の川のごみを取り除き、周辺に更に木を植えました。また、その事業は、環境に対する地域社会の意識向上を図るため、地元メディアやソーシャルメディアで広報されました。





オンラインで資金を獲得した アルゼンチンのライオンズ

05地区は、LCIFのための資金を獲得するため、公演や式典、参加者の寄付の機会があるオンラインのファンドレイジング活動を行いました。





Le BUS : BLV
Merci pour vos dons

103SW地区は移動しながら眼科検診を実施

フランスのライオンズは、辺境地域で支援の手が届いていない人々に目の検査を受けてもらうため、車を購入し、移動眼科検診が実施できる設備を整えました。



105CE地区のライオンズは食料支援のため戦略的パートナーシップを構築

イギリスの多くの農園や果樹園が秋の収穫を迎える時期、105CE地区のライオンズは、彼らと連絡を取りパートナーシップを結びました。

地元のライオンズや地域の住民(そのうちの数名がこの活動をきっかけに彼ら自身ライオンズに入会)が、各果樹園と農園に出向いて、まだ良い状態でも売り物にはならない作物を集め、地元の食品配給所に届けました。





CA1

CA2

CA3

CA4

CA5

CA6

CA7

CA8



フィンランドのライオンズはポイ捨て削減を支援

地域内の地面がたばこの吸い殻で散らかっていることに気づいた107 B地区のライオンズは、古い容器をライオンズのロゴ入りの携帯灰皿として再利用し、それらを地域社会に配布し始めました。



113地区は難民を支援

ルクセンブルクでは難民が大学に入学すると、政府は彼らが雇用されているとみなし、経済的支援を終了します。地元のライオンズは大学に入った難民たちの生活を支援するための奨学金を作り、教育を追求する難民への継続的な経済支援を行うよう政府に働きかけています。

“

地区や各委員会のライオンズは、学校、近隣居住区、病院、糖尿病の検査機器担当部隊、小児がんのアドボカシー活動団体、環境保全団体、台北市政府と連携しました。



-300A2地区 地区GSTコーディネーター

”





300-D2地区

毎年、300-D2地区(台湾)のライオンズは、地域の子供たちのために様々な史跡で戸外絵画コンクールを開いています。

それは、家族に充実した時間をもたらすだけでなく、子供たちが芸術的スキルを伸ばしながら地域の歴史を理解し、その素晴らしさを認識するために役立っています。



335 A地区は奉仕報告100%を達成

日本の地区チームは、クラブが奉仕報告をしていない理由を特定するためのアンケート調査を実施し、その結果から支援を促進し、研修を計画し、質問に応じました。

支援の一環として、クラブ役員が確実にライオン・アカウントを確実にし、報告するために必要な情報を提供するようにしました。





389地区は地域開発に貢献

中国のライオンズは地元の村と協力し、地域で本当に必要なインフラ整備を支援しました。ライオンズは、174,000元(26,000ドル超)を調達し、11の広場と13の埋立地建設に貢献しました。



ലയൺസ് ഹോം താക്കോൽദാനം



☉ ഓയൂർ ലയൺസ് ക്ലബ്ബ് നിർമ്മിച്ചുകൊടുത്ത ലയൺസ് ഹോമിന്റെ താക്കോൽദാനച്ചടങ്ങി നടന്നപ്പോൾ

ഓയൂർ ▶ ഓയൂർ ലയൺസ് ക്ലബ്ബിന്റെ നേതൃത്വത്തിൽ ലയൺസ് ഹോമിന്റെ താക്കോൽദാനം ജോയി എം.എൽ.എ.യും ഡിസ്ട്രിക്ട് ഗവർണ്ണർ വി.പരമേശ്വരൻകുട്ടിയും ചേർന്ന് നിർവഹിച്ചു. പള്ളിക്കൽ കാട്ടുപുതുശ്ശേരി ഷൈബാബിവിഹാർ വിട് നിർമ്മിച്ചുകൊടുത്തു. ഓയൂർ ലയൺസ് ക്ലബ്ബ് പ്രസിഡൻ്റ് മുഹമ്മദ് ഹുസൈൻ എട്ടുലക്ഷം രൂപ ചെലവഴിച്ച് നിർമ്മിച്ചുകൊടുക്കുകയായിരുന്നു. മടവൂർ അനിൽ, വി.മുരളി, കൃണിനദ് സെക്രട്ടറി ജയിൻ സി. ജോബ്, റീജണൽ ചെയർമാൻ പ്രസാദ് അമ്പാടി, സോൺ ചെയർമാൻ മണി, നാസർഖാൻ, അജയകുമാർ, ക്ലബ്ബ് സെക്രട്ടറി ആർ. ബിനു, ട്രഷറർ കോശി ജേക്കബ്ബ് എന്നിവർ സംസാരിച്ചു.

ケララのライオンズは、ある家族に新しい家を支援

318 A地区は、女性とその娘が自然災害で家を失った後、家の建設を支援しました。





320 A地区は救援物資を提供

タンザニアのライオンズは、壊滅的な洪水が地域を襲ったすぐにLCIFの交付金を獲得し、支援を提供するために結集しました。彼らは、1,500世帯を超える被災した家族に米と毛布を配布しました。



西ベンガルのライオンズは、 人々の就労を支援

322 F地区は、働き口が必要な地域住民に職業訓練を提供するための学習センターを開設できるようクラブを支援しました。



地元の農家に活力を与えたムンバイのライオンズ

3231A3地区は、地元の農家に果樹を寄付し、その植樹手伝いました。三年度には販売できる果物ができず、その時にはライオンズが収穫した果物を高値で売れるように支援する予定です。





環境保全のために戦う 3233G2地区

マディヤ・プラデーシュのライオンズは、地元の川をきれいにする奉仕事業を実施しながら、環境問題に対する一般の意識向上に努めました。

彼らの活動により、近隣農場から川に流れこむ殺虫剤と化学肥料の使用を最小限に抑えることが出来ました。





オーストラリアのクラブは、彼らの専門性を活動に活用

201N5地区のシドニー・シーサイド・ライオンズクラブはキルティングを楽しむ会員の集まりです。そのため、彼らは地元の野生動物保護区への資金を調達するため、自分たちのスキルを使ってコアラのバッグを作りました。





352地区は、ソーシャルメディア を使って子どもたちを学校へ

エジプトのライオンズは、ソーシャルメディアで支援を呼びかけ、子供たちの学費を支払うための資金を獲得しました。

多額の寄付が集まり、彼らは優良な学校や近隣の診療所に新しいコピー機と必需品を購入することも出来ました。



意識向上と資金獲得のためハイヒールを履いた南アフリカのライオンズ

410 W地区のライオンズは、女性に対する暴力をなくす取り組みへの意識を高めるため、国際女性デーでハイヒールを履いて地域社会を歩きました。参加者は、マラソンやウォーカソンと同じようなチャレンジ企画のスポンサーから寄付を集め、その収益はLCIFに寄付されました。





新型コロナウイルス感染症

共に奉仕を行う方法を見出した5M 10地区

カナダとミネソタのライオンズは、真冬のバーチャル年次大会期間中、自宅で縫う必要のない毛布を作ることによって地域社会に奉仕を行いました。

600枚以上の毛布が作られ、地域内のがんセンターに配布されました。





ミシガンのライオンズは地元 のパートナーシップを使い、手 の消毒液を製造

11 A2地区は、LCIF緊急援助交付金の支援を得て、地元のサイダー製造業者と提携し、その設備を使い手の消毒液を大量製造し、地域内の緊急救援隊などの初動要員に配布しました。



13-OH2地区はパンデミックを乗り越え、新クラブを結成

オハイオ州で、新型コロナウイルス感染症の拡大により新クラブ結成の取り組みが中断されたとき、地区のGMTコーディネーターとクラブのガイディング・ライオンは協力して、対面型の会合が再開できるまで入会希望者とバーチャルでやり取りを続けました。

屋外での数回の会議や、「誘ってみよう！」ガイドを使った数多くの活動の後、クラブは10月に新クラブの結成を申請することができました。





27 D1地区は、パンデミックの中でも会員の高い参加率を維持

ウィスコンシンの地区リーダーは、「取り残されるライオンは一人もない」参加プログラムを作り、コロナ禍でも会員が繋がりを維持できるようにしました。月に一度地区は、地区内の全てのライオンズがクラブを超えて集い、アイデアを出し合うためのバーチャルイベントを主催しました。

参加者は直面している課題、アイデア、戦略について話し合います。



33 Y地区は、オンラインで 子供たちの学習を支援

マサチューセッツのライオンズは、子供たちにオンラインで学習できる場所を与えるため、ソーシャルメディアや地元の学区から学習機の注文に応じ始めました。

地元のホームセンターと提携したのち、生徒に200台以上の机を提供し、地域社会の若者への奉仕に重点的に取り組むクラブ支部結成への関心も高めることが出来ました。



カナダのライオンズは、役員の会合を全会員参加型へと拡大

U 3地区のオンラインゾーン・チェアパーソン会議の参加者はみな、コロナ禍でもオンライン会議は会員が関わりを持ち続けることができることを確認し、地区は関心のある全てのライオンズを対象に、彼らに関連するトピック、課題や成功事例を話し合うための月例イベントを実施し始めました。





食料支援に取り組んだブラジルのライオンズ

アクション: LB 4地区の「ライオンズ食料配布キャンペーン」では、3か月以上に渡り、食料を集め、地区内の助けを必要としている家族に配布した。

インパクト: 29,000キロ(32トン)以上の食料を収集、配達し、クラブはパンデミックの中でも活動を継続して行った。

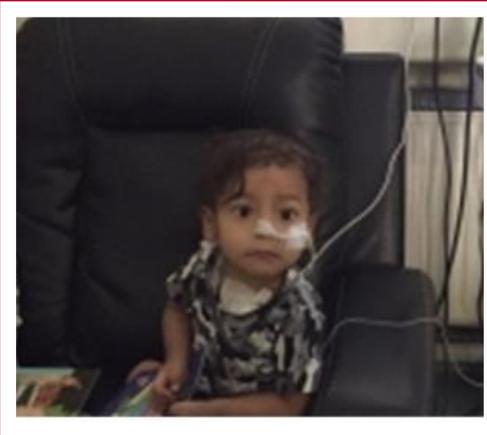




ライオンズに話す場を提供し 続けた0 2地区

アルゼンチンがパンデミックでロックダウンされる中、地区は、地域の他のライオンズと彼らの関心のあるトピックや奉仕事業の話について、ライブ配信によるインタビューを毎週行いました。





T-2地区が切迫した親たちの支援 に乗り出す

新型コロナウイルス感染症によって、親たちががん治療中の子供といっしょに過ごすことが制限されたとき、チリのライオンズは病院のがん病棟に携帯電話とリクライニングチェアを寄付しました。

今では、子供たちはより安心して治療を受けており、親たちと一緒に過ごせないときはビデオチャットができるようになりました。





屋外で安全に奉仕する方法を見出した112 D地区

ベルギーのライオンズは、地域の子供たちに寄付するために中古自転車を洗浄し、修理をして、パンデミックの中でも積極的に活動を続けました。



スペインのライオンズは、人々が対処できるように支援

地元の心理学者の指導を受け、116 A地区のライオンズは、コロナ禍の状況に立ち向かうためのはけ口が必要な人々とオンラインで話をしたり聞いたりするアクティブ・リスニング（積極傾聴）プログラムを開始しました。





117-B地区は、新型コロナウイルス感染症の拡大による子供たちの退屈を緩和

新型コロナウイルス感染症の拡大にともなう閉鎖期間中、ギリシャの子供たちに楽しく過ごしてもらうために、117-B地区のライオンズはコンテストを開催しました。

参加した子供たちは、自宅のあちこちにある物を使って自分自身の守護天使を作り、賞獲得を目指してその写真を提出しました。





129地区は、介護施設にペーパータオルを供給

スロベニアのライオンズは地元の小売業者とのパートナーシップを利用して、コロナ禍で供給が充分でない時に介護施設にペーパータオルを提供しました。30の異なるクラブのライオンズが企画し、寄付された品を配布しました。





308 B1地区は、安全に奉仕するために地区の事業を再考

アクション: マレーシアのライオンズは、彼らの食糧供給所を野外に移し、コロナ禍においても安全に奉仕を続けられるよう、より機動的な運営にした。

インパクト: 1,400人以上の人々に食料を提供し、18の異なるクラブからの会員参加を維持することが出来た。





子供たちに笑顔をお届けした 331 A地区

日本のライオンズは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ひとり親家庭の子供たちに1日の食事パックをお届けしました。





コロナ禍でも糖尿病予防の取り組みをやめなかった332 D地区

毎年恒例の世界糖尿病デー大会がパンデミックのために中止となったが、ライオンズは、大会で行われる予定だったプレゼンテーションと共にDVDを各クラブに配布しました。

また、地域社会に糖尿病予防を再認識してもらうため、電波塔を青にライトアップしました。



韓国のレオはオンライン学習で子供たちを支援

355 B3地区のレオは、地元の児童センターにコンピューター機器を供給し、学校が閉鎖されている間でも学習を続けられるよう、子供たちがコンピューターの使い方を学ぶのを支援しました。



“

私たちはライオンズ・新型コロナウイルス サポートセンターを設立しました。患者はセンターから様々な医療用品や酸素ボンベを提供され、毎日様々なクラブが色々な場所で食料品を配布しています。

-315B4地区 地区GSTコーディネーター-

”





清潔な環境へと改善し、ライオンズの知名度を高めた320 C地区

地区のすべてのクラブに、新型コロナウイルス感染症の拡大をくい止めるために役立つ奉仕事業に参加してもらった後、地区は目覚ましい会員増強を達成しました。

水不足や頻りに手を洗えない環境にあるインドの地域への手の消毒液のディスペンサーの寄付は、地域の注目を集め、クラブに対する関心を高めました。





CA1

CA2

CA3

CA4

CA5

CA6

CA7

CA8



321-C1地区は医師を表彰

321-C1地区のライオンズは、「医師デー」の一環としてインドの診療所を訪問し、素晴らしい実績のある医師たちに感謝の意を伝え、彼らを表彰しました。「医師デー」は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの中、地域の医師たちに特別な感謝を示すために設けられた日です。

「医師デー」に関する宣伝によって、二つの新クラブを結成するために十分な数の会員を獲得することもできました！

“

一人のドナーから提供される血漿によって、2人のコロナ患者の大切な命が救われます。社会の様々な人々から私たち全員がいただいた謝意や恩恵は、値段が付けられないほど価値があるものです。

-322 G地区 地区ガバナー

”





3234 D2地区は、ライオンズ・新型コロナウイルス感染症・タスクフォースを結成

マハラシュトラで結成されたライオンズ・新型コロナウイルス感染症・タスクフォースは、コロナ第2波の時、大規模な支援を提供しました。その奉仕では、患者が支援や必需品、血漿の提供を求める際に活用する酸素バンク、ヘルプセンターの開設や携帯アプリの提供、ワクチン接種センターの開設を行いました。

The poster features a smiling yellow blood drop character holding a sign that says 'LIONS COVID TASK FORCE'. In the top right corner, it says 'LIONS CLUBS INTERNATIONAL 3234 D2'. The main text reads 'DONATE PLASMA' in large yellow letters, with 'Save a Life' underneath. Below this, there are three bullet points with blood drop icons: '20 GM Silver Coin for Plasma Donar', 'Club Trophy on 15 Units Plasma Donation', and '5 Stars for One Plasma Donation in District Reporting'. At the bottom, there are two names: 'LION CA ABHAY SHASTRI District Governor' and 'LION PARMANAND SHARMA Coordinator LCTF'.



子供たちを楽しませるための支援を行った202地区

ニュージーランドのライオンズは、アクティビティセットを作成し、コロナによるロックダウンで家から出られない子供たちに配布しました。





パンデミックによる飢餓と戦ったジャカルタのライオンズ

アクション: インドネシアの307B1地区では、コロナにより地域で飢餓の危機が著しく高まった時、資金、食事の提供や支援の手を差し伸べることにより、地元の食料配給所との提携を強化した。

インパクト: 彼らの奉仕により、28,000人以上の人々が食料を手に入れることが出来た。





412 B地区のレオは、安全な スペシャルオリンピックス開 催を支援

マラウイのレオは、スペシャルオリンピックスの選手に保護具と消毒用品を提供し、安全に試合が行えるようにしました。

